

留学だより Vol. 6



こんにちは。尾形です。本レポートが最後になると思うので、お付き合いいただけると幸いです。

Holiday

私のホストファザーのお父さんの体調が崩れ、急遽ホストペアレンツが南島に行くことになったため、2週間ある休み期間のうち、はじめの1週間は臨時ホストの家に滞在していました。

その家庭は父、母、1つ上の姉という構成で、庭にはホットスパがありました。右写真のように水が出てきます。色も変わります。ホットスパというのは日本で



いところの水着着用型露天風呂だと思ってください。1週間しか滞在期間がないのでせつなくなると毎日のように1時間ほど使用していましたが、ここで事件が発生しました。毎日、というのは風の日も雨の日も、ということで、現代っ子の私は当然携帯片手に入浴しており、雨の日にうっかり外に置き去りにして家の中に入れてしまいました。幸い寝る前に気づくことができたのですが、携帯の中に雨が入ってしまったようで、画面に緑や黄色のストライプ模様が浮き出て来ました。そこで携帯から水を出すために、液晶画面

に平手打ちをしました。何度も。朝起きた際には液晶が真っ暗で何も表示されなくなっていました。ホームボタン等の振動はあったのでただ単に液晶が壊れてしまったのだと思います。1週間ほど携帯がない状態で過ごし、最終的にはキッズフォンで生きていけるのではないかと結論に至りました。LINEに写真などの思い出が詰まっているため最終的に修理に出したのですが。

ここの家庭はホストマザーが料理好きでとても美味しく、シスターとは一緒にお好み焼きやカレーライスを作ったりもしました。

Term 3には多くの留学生が来ました。2週間のみのタイ、日本からの団体や10週間の日本人など留学生の旅行にも参加することができ、充実した学期でした。

留学生とそのバディー達と休日にカフェに行った際、バナナ、ベーコン、そしてメイプルシロップのパンケーキを食べたのですが非常に美味しかったです。食べる前は甘いものにベーコンなんて、と思っていましたが、心を奪われました。別のカ



フェのフレンチトーストはニュージーランドで食べたものの中で一番美味しかったです。日本でも作ろうと思います。ニュージーランド伝統ケーキの

Pavlovaはメレンゲが主材料なので、やはり軽くお腹に溜まりにくいですが、これらのパンケーキはお昼代わりにもなるのでおすすめです。

10ヶ月生活をしていたからか、運動後にお米ではなくバーガーなどを欲する体になってしまいました。この間ロトルアで食べたものはボリュームもさることながら味も完璧でした。是非行ってみてください。



Scout

皆さんガールスカウト、ボーイスカウトという名前を聞いたことはあると思います。私が住んでいる **Te Aroha** という町にも奇跡的にあり、約半年ほど参加していました。毎週日曜日の午後が主な活動日で、ソファーを壊して焚火を作ったり、その焚き火で料理をしたり、お好み焼きを作りました。

ソースは醤油、オイスターソース、トマトソースそして砂糖を混ぜて作りましたが上出来でした。



ボルダリングやジップラインにも行きました。ボルダリングは昔家族で行った際は軽々とできていたのに腕の疲労が尋常ではなく、体が重くなったとい

う成長を感じる事ができました。ジップラインはロトルアにあり、100メートルから最大400メートルと非常に楽しかったです。ロトルアはニュージーランドを楽しむのに最適だと思います。興味のある方はロトルアに行ってください。テアロハにも寄ってくれると嬉しいです。



テアロハで開催されていた農業イベントではフェイスペインティングとバルーンアートをしました。フェイスペインティングは写真のようなもので、小さい子を中心に大盛況でした。私はお金をもらって人様のお顔にリクエストされたものを書くという緊張に打ち勝つことができず、友人の顔のみのペイントで終わりましたが、バルーンアートは前に練習したことがあったのでできました。来年の体育祭などに活用したらもっと楽しくなるかなと思います。

私はこの10ヶ月のニュージーランド生活で様々な課外活動をしました。その中でもこのスカウトの活動が1番思い出になりました。スポーツチームへの参加もも

もちろん楽しく友人もできたのですが、日本とは異なり1, 2学期で終了してしまうことと、そもそも同年代の女の子でバスケットボールをしているのが私含めて2人のみだったので日本での部活というものとは大きく異なっていました。これから留学に行く人、また現在留学している人で時間があってなにかしたいけど小さな町だからボランティアもあまりないし、クラブも人数が少ないし、という方は是非一度スカウトを調べてみるといいと思います。いろいろ参加してみて合わないと思ったら、一生出会うことのない人たちばかりなので気負わずすぐにやめればいだけなので気軽に参加できます。

学校行事

次世代のルールの中に宿泊に関して、ホスト同行またはホストスクールの教員同行でなければならないというものがあります。実は計画していたスカウトのキャンプもこれでだめになってしまったのですが、うちの学校にも宿泊行事があり、参加することができました。Year9と10の子たちが中心で各グループをまとめるリーダーとしてYear12と13の数名が参加していました。月曜日から金曜日までの5日間、Motutapu Islandというスーパーはもちろんコンビニもない島に行きました。あまり良い写真がないのですが、アーチェリー、ハイキング、シュノーケリング、セイリング、ロッククライミング、カヤッキングなどなど様々な活動をしました。海系の活動が風が強すぎて中止になったときのかわりに行ったアーチェリーでは、肘が曲がりすぎて弦が毎回当たり内出血を起こしてしまったので、次回からは気をつけようと思います。痛かったです。フライイングキウイという紐にくくりつけられた一人をみんなで引っ張って飛ばすというアクティビティも海系の代用なのですが非常に楽しかったです。

朝、モーニングティー、昼、アフタヌーンティー、夜そしてサパーという寝る前のお菓子タイムもあり1日6食の生活は幸せでした。また参加したいです。宿泊でなくとも学校の行事があればすべて参加できるかどうか掛け合ってみるのがいいと思います。



最後に

11月の頭に Price giving という表彰式のようなものがあり、そこで試験期間に突入したため学校の授業は終了しました。ちなみに Photography のクラスで 1 番だったのでチェキをもらいましたが私が持っているものと全く同じでびっくりしました。嬉しかったです。スーツケースの隙間がないので友人にあげて帰国しようと思います。白が元々あったものです。

今回の留学だよりは殆どが食べ物の写真だったのですが、ここまで読んでくださり有難うございました。都立学校に通い、次世代リーダー育成道場留学プログラムに参加することができ、高校生活の 10 ヶ月余りをニュージーランドで送る機会を得ました。留学が珍しい選択肢ではないという環境の小石川に通うことができているのは当たり前ではなく、この留学を通してどれほど恵まれた当たり前で囲まれて生きているのかということに気づくことができました。

留学を支えてくれた小石川そして現地校の先生方、充実した留学生活を形作ってくれた友人、留学という選択を受け入れそして見守ってくれた家族には感謝しかありません。本当にありがとうございました。

次世代リーダー育成道場、留学、ニュージーランドなど興味や質問のある方は帰国後、聞きに来てください。